

試験速報

試験品を運転することによる浮遊ウイルスに対する抑制試験 (25 m³空間)

(1) 試験ウイルス

Escherichia coli phage MS2 NBRC 102619

(2) 試験品

・次亜塩素酸空気清浄機 Viruswasher (型番:SVW-AQA2000(S))

(3) 試験方法

試験チャンバー内に試験品を設置し、噴霧器で試験ウイルスを噴霧して浮遊させた。初発(0分)の浮遊ウイルスをインピンジャーで捕集し、試験品の運転を始めた。その後経時的にチャンバー内の空気を20 Lずつインピンジャーで吸引し、浮遊ウイルスを捕集した。インピンジャーの捕集液を適宜希釈し、ウイルス数を測定した。

表1. 経過時間ごとの浮遊ウイルス数 (PFU/20 L-air)

試験条件	時間(分)						
	0	10	20	30	40	50	60
①自然減衰 (コントロール)	640,000	640,000	520,000	400,000	450,000	390,000	360,000
②試験品	510,000	20,000	2,200	180	22	2	<2

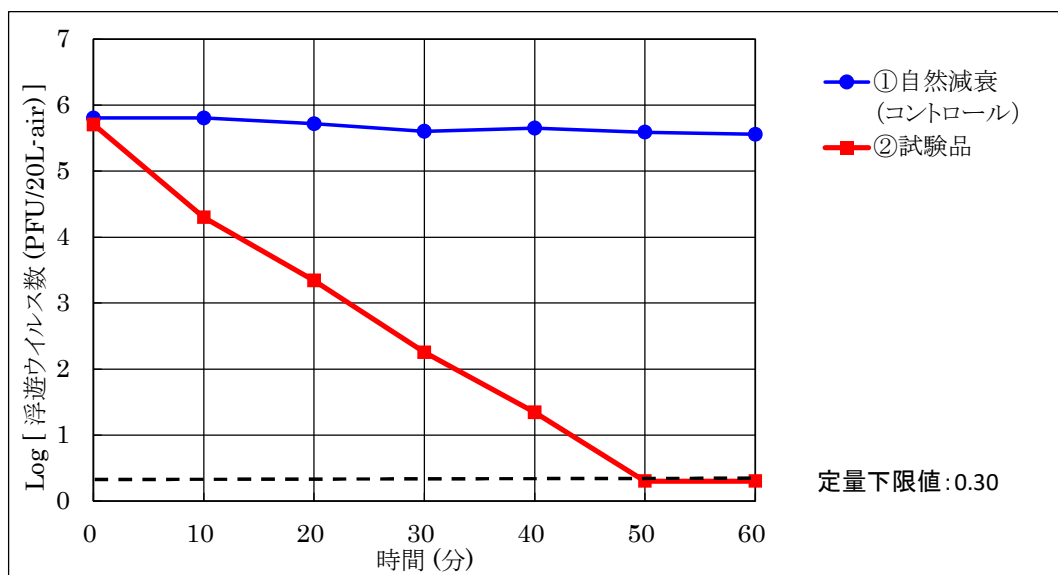


図1.経過時間ごとの浮遊ウイルス数